

シルバーだより 柏崎

第104号 発行日 平成24年9月1日

発行 (公社) 柏崎市シルバー人材センター
〒945-0032
柏崎市田塚3丁目11番30号
TEL (0257) 24-2148(代)
FAX (0257) 22-2438
編集 同上 広報部会
印刷 (株) 小田

登録会員数 1,175人 男716人 女459人 8月1日現在



主な目次

24年度定期総会	2
会員研修会講演	3
新任理事挨拶	4
理事会だより	4
正副地区委員長会議	4
いきいき就業体験	4
ワークプラザ感謝祭案内	5
SP事業2級ヘルパー講習	5
シニアじまん展の案内	5
農場体験ツアー	6
シルバー豆知識	6
研修部より	6
「柏崎市シルバー人材センター」紹介	7
「ワークプラザ柏崎」紹介	7
事業普及啓発月間	8
「やまゆり」通信	8
就業相談室	8
各種お知らせ	8



総会風景



平成24年度 会員表彰者

平成二四年度
定期総会兼研修会、
開催される

平成二四年度、定期総会兼研修会が六月二三日（土）午後一時から市民プラザ海のホールで開催されました。

出席者二一九名、委任状六〇五名で、会員総数一、一五八名の過半数に達し、総会は成立しました。今回は四月から公益社団法人に移行した後の、第一回目の総会です。



千原理事長挨拶

会員の皆様はご承知のように、仕事を通じて生きがいや或いは社会に貢献して行こうと言うことで参加されておられます。

シルバールの現状を少し申し上げますと、ご承知のように四月一日に公益社団法人となりました。現在それに関係する諸規定の見直しを行っているところです。

公益の名がつく限りは広く市民、国民の皆様のために何らかの貢献をしていかなければならないと言つ命題があります。

次に後ほど局長のほうから報告がありますが、二三年度は、三会計合わせて一〇〇万円の赤字決算になっております。もちろんこれは色々な理由がございますが、世の中の不景気が背景となっています。これから力を合せて民業を圧迫しない範囲で、いわゆるシルバールに相応しいと言う意味の仕事を力を合せて探していかなければならないと思っております。

東本町に「やまゆり」というお店がございます。一〇〇名を超える皆様からボランティアに、ご協力を頂いております。

また、二か所に農協を介しまして野菜を中心とした作物も作っております。これもご承知のように殆どボランティアで成り立っております。

どうか、これからも皆様の一段のご協力をお願いします。国や県から示されていますのは過度に補助金に依存することなく、皆さんの創意工夫をもって独自財源を見つけていきなさいということであります。

会員の皆さんどうかお知恵のある方は知恵をだし、力のある方は力をだして頂きまして、柏崎市シルバール人材センターが益々繁栄できますよう、お力添えをお願いいたします。

たしまして、冒頭の挨拶とさせていただきます。

会員表彰

引き続き、会員表彰が行われました。

◎会員（二一九名）会員番号順

- 小野豊四（北鯖石）、柴野勝（松浜）
- 荒川達二（東部）、持田克利（東部）、石崎昇（比角）、本間富子（枇杷島）、平野キヌ子（比角）、生出賢（海岸）、中村春枝（海岸）、小川勝代（剣野）、久我浩（田尻）、小林知子（高田上条）、村山武之（松浜）、中村久夫（高田上条）、田辺悦子（松浜）、阿部春雄（東部）、蓮池忠（東部）、中村祥子（比角）、小泉哲男（西部）、武田修二（東部）、笹川淳（比角）、柳昭三（枇杷島）、小林桂子（田尻）、中村寿美子（黒姫）、大橋利之（半田）、前川清（枇杷島）、赤沢来由（枇杷島）、島田勲（田尻）、元井秀治（西中通）



右受賞者を代表して、柳昭三氏（枇杷島）より、謝辞が述べられました。

議事

議長に、木下照也氏（西山地区）を選出して議事が進められました。議長より、公益社団法人に移行したことにより、議事録署名人は理事全員となる旨、説明があり議事に入りました。

提案された四議案は、いずれの議案も提案通り、承認されました。なお、第四号議案において、役員の補充が提案され、小林和徳氏（枇杷島）が推薦され、承認されました。

来賓祝辞

柏崎市長より「現在、市の六五歳以上の高齢者人口の比率は二七・七%になっており、数年後には三〇%を超える予想です。高齢者の皆様は、住み慣れたところで、生き甲斐をもって安心して暮らせる地域社会づくりを、基本理念とした施策を進めております。

そんな中で、シルバール人材センターの皆様には豊富な経験、知識、能力を活かして、これからも取りこんでいただきたいと思っております」という祝辞を頂戴しました。

次いで、柏崎市議会副議長池田氏、柏崎公共職業安定所高橋所長より、夫々祝辞をいただきました。

柏崎市シルバー人材センター

事務局長代理 青木 健



一、「やまゆり」

シルバーふれあいサロン「やまゆり」は、平成十八年四月に空き店舗利用のアンテナショップとしてオープンしました。以前からシルバーのお店を出したいという構想はあったのですが、全国の先進地を調べたところ、空き店舗利用のチャレンジショップは大概一年か二年で潰れている処が多くみられました。潰れた原因は、経営の



素人が配分金を払って運営したため、補助金が切れて経営に行きづまるパターンがほとんどでした。

「やまゆり」は、そうならないよう、準備委員会を設置、先進地視察(福井市、大野市)等を行い、ボランティアでの運営とし、小さく作って大きく育てようと、立ち上げに五年間の長期スパンで望むこととしました。

全会員にボランティアの募集をしたところ、当時一六〇人の応募があり、現在約一五人のボランティア会員が登録、うち、半数以上が男性です。

・ たのしい(お店屋さんごっこのようなワクワク感)

・ 行く場所ができた(友人)

・ 会話、お金のやりとり・ 適度な緊張感、頭の回転

といった理由から、辞めてゆく方が少なく、皆さんは和気藹々と、楽しくお店番をされています。

二度の大きな地震に見舞われ、途中移転を余儀なくされましたが、大家さんのご厚意で新店舗を建て直していただき、再びえんま通りの真ん中で営業を再開できました。

補助金に頼らない体質、会員や市民の憩いの場所(サロンの併設)としての位置づけ、復興のシンボルとして再開発されている、えん

ま通りへのこだわりなどが、少しずつ奏功し、シャッター通りが少し元気になった気がします。地域や行政との連携をはかり、直売所の指定も受けました。

夢は大きく、売上高年間千二百万円を目指して、今後も努力します。皆さん、是非足をお運び下さい。

二、企画提案事業「みんなの農場」

柏崎市の高齢化は全国平均よりも進み、農業従事者は高齢や後継者不足で苦しんでいます。



センターでは、そのような現状を踏まえ、次の項目を目的に体験型農場「みんなの農場」を企画しました。

- ・ 遊休地・耕作放棄地を有効活用
- ・ 野菜栽培を通じて、地産地消の推進
- ・ 農業の担い手育成
- ・ 後継者不足の解消

- ・ 地域における異世代間交流
- ・ 食育の推進

- ・ 新しい形での就業場所の確保
- ・ センター事業における独自財源の確保
- ・ SP営農サポーター講習会受講者の受け皿としての機能

農場の広さは約五〇アール(五反)あります。これは、地元の兼業農家や元農家から借り受けた、耕作放棄地、または遊休農地です。運営は、コーディネートを中心に、センター会員によるボランティア、SP営農サポーター講習を修了した受講生、一般市民の手によって行われます。

柏崎市介護高齢課、柏崎市農政課、新潟県地域振興局農業普及センター、JA柏崎営農指導課とも連携、最近はかしかり地域食育応援団にも所属し、上記の目的に沿って活動を強化しています。

二五年度は目前直売所との連携強化、地元レストランや漬物などにルートを確保し、近い将来農地法上の特定農業法人として、出荷ができるよう、県や農業委員会に働きかけを行います。

三年間の補助事業が終了後は、翌年度に使う苗や堆肥などは、自分たちの作った野菜を売った収入で賄えるよう、自活できる農場として、努力したいと考えています。

新任理事挨拶



枇杷島地区
小林 和徳

六月の定期総会において、理事に選任いただきました。浅学非才、覚束無い足どりですが、任務を全うすべく努力いたしますのでよろしくお願ひします。

柏崎市もシルバー人材だらけの様相を呈して久しくなっています。多くのシルバー人材が社会参加し、働くことを通して生きがい高め地域の福祉に貢献できるよう設立された当センターの役割の重要性は増々高まっております。

経済状況が著しくない中で、経費の抑制や受注の拡大を図る工夫がいままでより以上に求められます。

シルバーの店「やまゆり」の立ち上げや「みんなの農場」計画など自助努力が効を奏してきています。本年度から「公益社団法人」柏崎市シルバー人材センターとして再出発しました。

会員各位のご示唆、ご理解をいただきながら頑張りたいと思ひます。

理事会だより

(第一回) 六月五日(火)

一、議題

○入退会者承認について(二月～四月) 入会三二人、退会八九人で五七人減

○二三年度事業報告・決算報告について及び監査報告

○役員候補について

○財務規程について

○定期総会について

右、事務局の提案通り承認

二、報告事項

○役員の保険料の徴収について

○その他

理事会議事録署名は公益法人移行による規程に従い、これまでの二名から全員に変更された。

正副地区委員長会議開催

五月一日、シルバー人材センターで正副地区委員長会議が開催されました。

理事長挨拶の後、本年度四月より公益社団法人となり、新体制になった報告がありました。それに伴い、地区懇談会についての内容説明や地区担当職員の紹介がありました。

あわせて「シルバーだより柏崎」の配布が依頼されました。

いきいき就業体験

私達の仲間はいろいろなところで活躍しています。会員皆様の生の声を掲載いたします。

清掃作業に就業して

田尻地区 上野 春江

今年三月にシルバー会員の仲間に入れていただきました。私には特技はありませんが清掃は大好きな仕事です。

最初の仕事は一人暮らしのお宅の家事清掃でした。今も週一回私の来る日を楽しみにして下さっていて、とても良い気分です。また今まで経験のない鉄工所の床みがきを優しい先輩会員の方と試行錯誤しながら、汗だくで頑張りました。喜んでいただける仕事をするには会員同志が心を合わせてやる事が良い仕事が出来ると、私は感じました。

大変な事とは、自分自身きり開いていく事と思いますが、これからも喜んでいただけるように、仕事をさせていただけます。



児童クラブの鍵明け

剣野地区 古内サヨ子

剣野児童クラブで「月水金」の週三日、「夏休みの早朝鍵明け」の仕事を担当しています。

朝七時三十分～九時三十分までの二時間です。

利用者四四名が次々家族と登所して来ます。玄関に入つて来た時には出迎え「おはようございます」と、大きな声での挨拶を心掛けています。初日は声の出なかつた児童も、次の日からは声を出して「おはようございます」と、挨拶をし、とても嬉しく思いました。



早朝の二時間は勉強の時間帯ですが、腕白盛りの子供達、静かになるまでは時間を要します。

パワー溢れる子供達と接する事は、元気をいっぱい頂ける、とても貴重な有難い時間だと思っております。

ワークプラザ柏崎 感謝祭案内

年に二度の感謝祭
わくわくワークワークプラザ柏崎
今年のテーマは「癒し」

- ・ 東本町のシルバーふれあいサロン「やまゆり」を再現
- ・ 野菜や小物の販売
- ・ 鯛めしの限定販売 サンキュー 価格三九〇円
- ・ 利用者によるステージ発表、作品展示
- ・ お子様にはジュース、ポップコーン無料配布



とき 九月三日(日)
午前十時～午後三時
ところ ワークプラザ柏崎
(☎24-8578)

シニアワークプログラム 2級ヘルパー講習

新潟県シルバー人材センター連
合会主催の2級ヘルパー講習会
(柏崎会場)が七月三日から九月十
二日まで行われています。

新潟県指定のカリキュラム二三
四時間を座学と実習で学び、全講
習を修了すると、ホームヘルパー
2級の資格が取得出来ます。取得
後は、介護施設職員や訪問介護職
員として就職することが目的です。
いままでの受講生の中には、柏
崎市シルバー人材センターの訪問
介護員(ヘルパー)として活躍され
ている方がたくさんいます。
今年も優秀なヘルパーが育つこ
とを期待しています。



シニアじまん展の案内

十月二七日(土)、二八日(日)
市老連主催(シルバー人材センタ
ー共催)でシニアじまん展が開催
されます。

作品募集

作品は、日本画、洋画、彫刻、
陶芸、書道、写真、手芸品・編み
物などなんでも結構です。

会員の皆様から、ぜひ出品して
下さい。骨董品、じまんできる物、
おかしかった物なども大歓迎です。
出品していただける方は、十月五
日(金)までに事務局に連絡下さい。
(電話24・2148)
出品数 一人二点まで。

シニアじまん展

とき
十月二七日(土)十時～十六時
十月二八日(日)十時～十五時
ところ
ソフィアセンター二階(市立図書館)

シルバー人材センター紹介コー
ナーや作品紹介コーナーがありま
すので、ぜひお出かけください。



シルバー人材センター紹介コーナー



陽だまりコーナー

なお、シルバー人材センター協
力団体の「陽だまり」も、パソコ
ンコーナーを会場に設置して、じ
まん展をサイドから盛り上げます。
顔写真入り名刺をその場でお作
りします。ご利用ください。

有機野菜栽培農場 体験ツアー

体験型農場「みんなの農場」で、安心安全な有機野菜の定植&収穫体験しませんか？

ご自分の植えた野菜を収穫する醍醐味を味わっていただくツアーです。

こんなチラシを出し、企画提案事業の一環として今回、東京在住の野菜作りに興味のある方々をバスでご案内し、春に自分で植えた有機野菜を、秋に自分で収穫する醍醐味を味わっていただくツアーが企画されました。

柏崎市の観光協会ともタイアップし、柏崎観光も兼ねた地域間交流事業としての目的もあるとのこと。

今回、春の陣は、全シ協のホームページに掲載、世田谷区シルバー人材センターのご協力をいただき、募集したところ、世田谷区を中心に三三名の応募があり、去る五月十五日(火)〜十六日(水)に開催されました。

一日目…東京出発↓途中S A(昼食)↓柏崎宿泊施設↓みんなの農場(野菜の定植)↓宿泊施設↓夕食(全国ごんがり選手権で準優勝

した鯛茶漬の食事を堪能)

二日目…シルバーの直売所「やまゆり」見学↓観光いちご園でいちご摘み↓お土産処でお買い物↓東京帰着

当日は心配した雨も、作業中は嘘のようにやみ、参加者、地元会員が一緒になって和気藹々と柏崎野菜の一つでもある里芋の定植を行いました。

春の陣はおおむね好評だったようで、秋の収穫に期待する声がたくさん聞かれました。



シルバー豆知識

知っておいて欲しいこと

その四十四

保険について

もし事故が起きたら……

速やかに事務局に報告して下さい。

会員の皆さまが安心して就業できるよう、シルバー人材センターでは団体傷害保険と賠償責任保険に加入しています。

団体傷害保険

- ・就業中、就業途上での事故は、労働者災害補償保険(労災保険)は適用されません。(センターと会員、発注者と会員の間に雇用関係がありません。)
- ・各自の健康保険を使って医師の治療を受けて下さい。

- ・通院、入院日数によって保険金が支払われますので、領収書の保管をお願いします。

損害賠償保険

就業中に発注者などの所有物に損害を与え、又は、発注者などに損害を負わせるなどして損害賠償が生じた場合にその損害を補填します。

研修部より 就業に当たってのお願い

◎仕事に行く時は、お客様の都合もありますので、必ず事前に伺う日時を連絡して下さい。約束した日に行けなくなつた時も連絡して下さい。

◎たばこ、昼食等のごみは必ず持ち帰して下さい。

◎就業報告書について

①必ず時間を記入してから印鑑を頂いて下さい。

(印鑑を先にもらい、後で時間を記入してお客様から、こんなに時間がかかっていないと苦情がありました。)

②就業報告書は翌月の三日までに提出して下さい。

◎受注票の取り扱いについて

他県のことですが、会員さんが受注票をどこかに置き忘れたり、車の鍵を忘れられて盗まれてしまい、大問題になったことがあります。この取り扱いには十分に注意して下さい。

◎配分金について

就業した月末で締めて翌月十五日、振込によりお支払いします。金額を確認していただき自分の計算と違う等、不明な点がありましたら、早めに事務局に連絡下さい。

「柏崎市シルバー人材センター」紹介 第五回

えんま市の裏側

柏崎の初夏の風物詩「えんま市」、毎年六月十四日～十六日、全国から多くの露天商が集まり、本町通りを中心に露店市が開かれ市内外から大勢の見物客で賑わいます。

この「えんま市」でも、市の観光の裏方として、シルバー会員が多く活躍しています。交通規制の看板取り付けから始まり、露天商の位置を決めるための番号付け、そして早朝五時からの沿道清掃、沿道の交通監視員、仮設トイレの清掃などです。特に早朝清掃は三〇人の会員と事業所のボランティアが約一〇〇人、最終日には第一中学校の生徒、保護者、先生二七〇人体制で行われます。シルバーのトラック四台、ごみ収集車六台を提供し、食べかす、空き缶、プラスチックごみ、余った食材等、沿道に散乱したごみの山を、みんなの手分けして集め、ごみ収集車に積み込みます。まさに沿道の大掃除です。

今年の清掃はあいにくの雨、カップに来てごみを集める作業は、汚いだけでなく、においもきつく、シルバーでなければ出来ない

仕事で、見物客が気持ちよく歩けるのもこうした会員さんの活躍があつてのものだと思えます。

それにしても、ごみの量たるは相当なもので、食べ歩きが楽しみの「えんま市」ですが、自分で食べたごみを持ち帰る人が少しでも多くなればと思います。

仮設トイレの清掃も女性二名の会員さんが、三日間朝から夜まで巡回して清掃とペーパーの補充をします。誰もが嫌がる一番嫌な仕事なのに、一生懸命作業している姿には頭が下がります。本当にありがとうございます。



皆さんが毎年楽しみにしている「えんま市」は多くの会員さんの手で支えられています。(事務局)

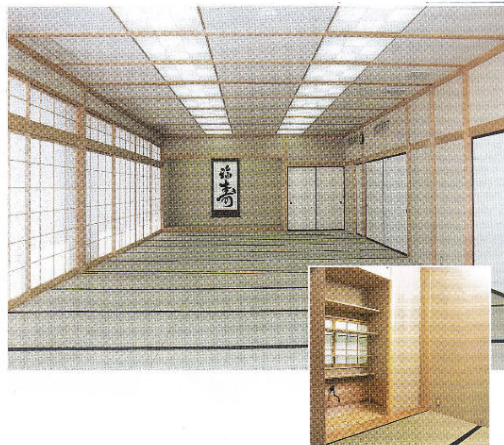
「ワークプラザ柏崎」紹介 第五回

ワークプラザ柏崎の各お部屋(室)の紹介をします。今回は和室と展示ホールについて紹介します。

○和室

※室の大きさ

(第一、第二和室、各四〇・五㎡)
(定員二六名第二、第二和室ご利用)



第一、第二和室と二部屋あり、二部屋をつなげてご利用いただく二六畳の広さとなります。

第一和室には、床の間と水屋があり茶道を行うことができます。座卓、座布団があり、サークル活動や個人でのご利用も多いお部屋となっております。

○展示ホール
※室の大きさ(八〇・二㎡)



展示ホールは、玄関を入り、すぐ右手にあり、準備や片づけ等の荷物の移動がしやすい場所となっております。

展示会等で多くの利用があります。パネルで仕切ることできます。



十月は事業普及啓発促進月間

全国シルバー人材センター事業協会では、十月一日から三十一日までを「シルバー人材センター普及啓発促進月間」と定め、全国的な普及啓発活動を展開しています。

当シルバー人材センターも、この期間中に会員の増強と就業機会の拡大、新規会員の募集のための運動や、会員の経験を生かす就業の開拓推進などを実施し、普及啓発に力を入れます。



クリーン作戦

当センターでは次のような仕事をしています。植木の剪定、大工仕事、塗装、障子・襖・網戸の張替え、刃物研ぎ、賞状・宛名書

き、事務作業、各種内職、施設管理、屋内・屋外清掃、除草、家事援助などお気軽にご相談ください。

今年もこの月間内の「シルバーの日」十月二十日(土)を中心に、各地区でクリーン作戦(清掃ボランティア)を実施する予定です。

近隣の施設や道路沿いのごみ拾い、草取りや清掃を行います。多くの会員の方が参加されますよう、お願いします。

やまゆり通信

シルバー人材センターの運営する「やまゆり」は、昨年リニューアルオープンし、十月で一年たちま



新潟県中越沖地震から五年となる今年の七月十六日は、えんま通り商店街で「五百圓魔市」が開催され、「やまゆり」も参加しました。

復興のシンボルとして注目されるえんま通り、テレビの取材を受ける機会もありました。

新鮮朝採り野菜がにぎやかに並び、多くのお客様に利用されています。

「やまゆり」は、ボランティア会員の方に支えられています。引き続き、お店番ボランティアの方も募集しております。お願いできる方は、事務局までご連絡下さい。

なお、九月三日(日)は、ワーンプラザ柏崎感謝祭のため、東本町のお店はお休みとなりますが、感謝祭に出店するためこちらをご利用下さい。

就業相談室開設

未就業の方々や現在の就業に満足出来ない方々のお気持ちを聞き、より良い就業が出来るような相談室を毎月第4木曜日13時から16時頃まで開設いたします。ご希望の方は必ず電話予約をしてください。

開設予定日

9月27日 10月25日
11月22日 12月20日

パソコンの「困った」に
お答えします。
「やまゆり」

無料。パソコン
相談コーナー

毎週、金曜日午後一時～三時まで開いています。お気軽にお問い合わせください。

編集後記

中越沖地震から、ちょうど五年経ちました。

ようやく復興のシンボル、新市民会館が、柏崎市文化会館「アルフォーレ」として竣工し、七月八日に開館記念式典が行われ、オープンしました。

五年という節目の年、復興に対するこれまでの行政サービスも、変化していくでしょう。

シルバー人材センターも四月から公益社団法人に移行しました。そして、シルバーもそれに対応した変化が求められています。

(今井)